

70 年を超えても

心オドることを

みんなと一緒に。

「歴史って、公式みたいだ」と僕の友人は言った。
手を変え品を変え、けれど結局は同じことを繰り返しているにすぎないじゃないかと。
またある人は「歴史は個人プレーだ」と言った。
どんなサークルでも集まることに意味が見出せるのに、
歴史はそれがないと。
——なら、なぜ「史学研究会」はあるのだろうか？
1954 年「歴史学」を行うことを目的に結成した本会。
でもそれが長々と続いているのはきっと、あの人達の
言葉が全てだと僕は思う。
「ふらっと立ち寄り、気が済むまで話し満足したら
また別の場所へ。そしてまた話したいことができたら
戻ってくる場所」
縁があり繋がった OB らのこの言葉がこの会のある
意味だと、僕は信じてみたい。

中央大学史学研究会 2025 年度委員長 林歩

多摩キャンパス(4/1-4/4): 2・3 号館前 ブース 4
茗荷谷キャンパス(4/4-4/5): 2W01,02 教室 ブース 73

学芸連盟 / 歴史学学生サークル連盟 所属

中央大学史学研究会

— VERITAS OMNIA VINCIT —



Contacts

会室: 中央大学多摩キャンパス 4 号館 3 階 4314 号室

Email: sigakuken@gmail.com

公式 HP: <https://www.chuo-hrs.com>

X: @shigakuken Instagram: @shigakuken

公式 HP



新歓 Line を
登録できない
場合はこちら↓

新歓 Line



「史学研究会」とは

中央大学史学研究会は1954年（昭和29年）の創設以降70年に渡り歴史と向き合い続けてきた、本学でも指折りの歴史を持つ大学公認サークルです。東は日本から西はアメリカまで、人類の住む5大陸6地域の4000年以上を誇る歴史や文化などから各会員の興味関心に応じて自由に探求し、研究結果を論文や発表とする。この活動は、途中小休止を挟みながらも創設以来変わらない、我々の「お家芸」です。

執筆した論文を装丁した機関誌『葦』の作成と白門祭などでの頒布を活動の軸に添えながら、年2回程度の旅行合宿や勉強会などを行うなど、単なる「勉強」に留まらない多方面な活動を行っています。2024年度からは再び、約4年ぶりとなる対面での活動を行っています。多摩キャンパスを中心に活動は行いますが、他キャンパスの生徒であっても本会の活動へ参加することのできる手段の用意はありますので、お気軽にご相談ください。

2025年度の主な行事予定

- 4月 新歓
- 4月下旬 春遠征（松本）
- 9月上旬 夏合宿（大阪万博他）
- 11月 白門祭
- 冬 関東史学系サークル研究発表大会
- 3月 葦（機関誌）の発行

会員の声

- ・中央大学史学研究会では、「積極的に参加するかはわからないがとりあえず入会しておきたい！」という方も歓迎しています。
- ・日本史の会員が減っているので、日本史が好きな皆さん、お待ちしております！！
- ・気づき考え行動する人大好き

会員の関心分野

【世界史】

チェコ/西洋思想/経済史/哲学/中世キリスト/経営史/商業史/アケメネス朝/宗教政策の変遷/近現代ヨーロッパの王室制度/西欧中世宗教社会史/ジェンダー史/ドイツ近現代史/近現代の英米関係/スペイン/古代オリエント（ウガリト）/中東・アフリカ史/中央ユーラシア/中国史/古代史/暗黒時代/南北アメリカ文明/魔女狩り/後漢末期/三国時代/古代インド史（インダス文明）/イスラーム史（イスラーム教成立付近）/神聖ローマ帝国の帝国都市/諸子百家が中国に与えた影響/ディストピア史/古代メソポタミア/WW2 ドイツの諜報機関/レコンキスタ史/アメリカ近代史/第二次世界大戦/現代史/ナポレオン一世/オリエント/中南米/共和制ローマ/スラヴ民族/現代史/ユーゴスラヴィア史/イベリア半島のレコンキスタ/ヨーロッパ/イスラーム

【日本史】

日本中世/近世史/明治期における天皇制/宮中改革/戦国時代/日本にキリスト教が広まった理由/近世・近代日本の対外関係史/明治維新史/郷土史（長崎県）/歴史学の歴史/16世紀中葉から17世紀初頭の戦国時代/近現代史/奥州藤原氏

「関東史学系サークル発表大会」について

2025年2月18日、本校の茗荷谷キャンパスにおいて関東地方の史学系サークル15団体が一堂に会し、各々の興味・関心にそった内容で発表を行いました。今年度も実施予定です。



2024年度夏合宿@仙台



2024年度白門祭



2024年度冬合宿@京都・奈良